



スマイル子育て便り

釧路市児童発達支援センター 令和3年12月28日発行 No.9

今回は『ほめ方のコツ』について紹介します。
子どもが“ほめられた”と感じられるような、伝わりやすいほめ方について説明します。
お子さんはどのようなほめられ方が好きでしょうか？例えば、『拍手をする』『グッドサインを出す』など、一人ひとり好きなほめられ方があります。

ほめ方のポイント



1. 声や表情など

ほめられていることが伝わるように

- 子どものそばで
- 目線を合わせる
- 明るく穏やかに
- 表情豊かに



2. 言葉かけ

何が良かったのかが伝わるように

- 子どもの行動を具体的にほめましょう
(例) ◎ 「スプーンを持って食べられたね」
× 「ちゃんとできたね」



3. 子どもの好きなほめられ方で

お子さんのタイプによって
好きなほめられ方が違います

- 大げさにほめられるのがうれしい
- 頭をなでられるのがうれしい
- そっとほめられるのがうれしい



批判、皮肉は言いません



(例) 「できるなら、いつもやってね」

この言葉かけは、いつもできていないことが前提になり、良い親子関係を作ることが難しくなります。

3つのポイントのどれか1つでも、意識してほめてみましょう！
お子さんの反応が変わるかもしれません。

☆質問や相談がありましたら、気軽に児童発達支援センター職員に声をかけてください。

地域支援相談担当 44-3555
野のはな園 44-1022